

# 7月



平成24年  
7月2日発行  
石田・岡・北原

今月の保育目標：夏ならではの遊びを楽しむ。

雨の日が続く。ジメジメと子どもたちにとっても嫌な日が続いています。  
雨の日でも楽しめるように、保育室に滑り台を設置して、室内でも十分体を保って遊んだ。以上見聞の部屋へ探検に行き、お兄さんお姉さんにたくさん話しかけてもらい嬉しそうにする姿が見られました。

これからどんどん暑くなり、汗をかく事も多くなっていきますので、たっぷり遊んだ後は、しっかりと水分補給を行い、体温測定や衣服の調節をして、体調管理には十分気を付けていきたいと思ひます。



## 絵の具あそび

絵の具を手につくと「冷たい」。「ベタベタ」などの初めての感触に戸惑い泣いてしまう子や、筆の感触を好き、もっともっとと喃語で訴える子、また、筆の平を握った瞬間に不思議そうに見つめる子と、一人ひとり感じ方は違ひますが、いい経験ができたと思ひます。



## 食事

自分でフォークやスプーンを持ち、食べる姿や、食べたい物を指差して保育士に伝える姿が見られるようになってきました。  
月齢の小さい子は、哺乳瓶に手を添えて自分で持つようになるようになりました。  
一人ひとり個人差はありますが、ミルクの量や食事の量も増え、落ち着いて食事できるようになってきました。  
衛生面にも十分気を付けていきたいと思ひます。



## ホールで...

ホールに平均台が設置してあるとすぐに近寄り、月齢の大きい子は、保育士に手を支えられながら上手に渡りきることができました。  
月齢の小さい子は平均台をトンネルにして、出口の所で待っている保育士の所まで嬉しそうにハイハイしていました。  
発達段階は違ひますが、みんな伸び伸びと楽しむ姿がありました。



## 睡眠

以前は、泣いて眠たい事を訴え、抱っこやおんぶで眠りにつく事が多く、小さな物音でも目覚めてしまうなど、まとまった時間午睡ができませんでした。しかし最近では、保育士に抱っこを求め眠たい事を訴えたり、布団の上で背中をトントンすると眠りにつく姿が多く見られるようになってきました。  
子どもたちにとって、保育園が安心して暮らす生活の場になってきたように感じています。



H24. 7.2 発行  
坂・伊藤  
三鬼・松永

### ＜目標＞ 水遊び、泥んこ遊びなど、夏ならではの遊びを楽しむ。



梅雨の時期に入り、ジメジメとした蒸し暑い日が続いていますが、子ども達は元気いっぱい、毎日を過ごしていました。晴れた日には、お父さんに出掛けたり園庭で遊んだり、戸外遊びを楽しみ、アリの巣を見つけて「りーさん!!」「あー!!」と言って指を差しながら興味津々にジッと観察をしたり、たんぽぽの綿毛を「フーン」と飛ばしたり、自然と虫と触れ合いながら伸び伸びと過ごしていました。7月はプールも始まり、水遊びや泥んこ遊びといった夏ならではの遊びを子ども達と一緒に楽しんでいきたいと思っています。

また最近では、オムツを自分で脱ごうとして「シッコ!」「シーシー」と言いトイレへ行こうとしたり、お友達がトイレに行く様子を見て行こうとする姿などが増えてきました。少しずつ自分でできる事が増え、又「自分でしたい」という意欲も出てきて、子ども達の成長を日々感じています。そんな子ども達の気持ちを受け止めて、一人ひとりの発達に合わせ、娘にならないようにゆくりと関わりながら、どんどん成長していく姿を見守っていききたいと思います。



### ミニ運動会があったよ♪

6月2日にミニ運動会がありました。おじいちゃん・おばあちゃんと一緒に競技に出る一緒に遊ぶことができて子ども達のたくさん笑顔を見ることができました。りす組の競技である「クマのついで」では、おじいちゃん・おばあちゃんと手を繋いだり抱っこをもらいながら走り、上昇に果敢とタッチをしてゴールすることができました。おじいちゃん・おばあちゃんと一緒にお父さんやお母さんの応援をしたとゆたりとした時間が流れ、とても温かい雰囲気の中のミニ運動会になりました。また、暑い中体調を崩す方もあらず、みんなが元気に笑顔で過ごすことができた日だったと思います。

### 父の日のプレゼントを作ったよ!!

父の日のプレゼントは、子ども達一人ひとりが描画し、フォトフレームを作りました。絵の具をつけて筆を持って描画することが大好きな子ども達はとても楽しみにまた真剣に描いていました。

プレゼントを自分で「どうぞ!」と言ってお父さんに渡したり、「自分で描いた!」という言葉を伝えようとして、子ども達自身「自分のもの」「ほくがおたが作った」ということをアピールしていた姿があったことを聞き、私たちもとても嬉しく思いました。

これからも、子ども達と一緒に色々な製作物を楽しみながら作っていききたいと思います。





# うさぎぐみだより



H 24、7月1日

早川、穴澤、村山、田中

## 今月の目標

生活や遊びの中で友達と様々な発見や関わることを楽しむ。(コミュニケーションの大切さを学ぶ)



梅雨に入り蒸し暑い日が続くようになりました。部屋での活動も増える中、子ども達は様々なことに興味を持ち、発見したことを保育士や友達に話す姿がみられます。時にはトラブルになることもありますが子ども達の言葉、一人ひとりの気持ちにしっかりと向き合い「友達と一緒にいることが楽しい!!」「人と関わることで楽しい!!」と感じられるようにしていきたいと思います。



## 父の日の製作

6月17日(日)の父の日にむけて子ども達は一生懸命フロセントを作りました。お父さんの顔を插している時には「ハハハおまげがある!!」や「Xかネある!!」と普段のお父さんの様子を上手く絵で表している子もいました。染め紙では白い紙に色が染みていく様子を不思議そうに見つめたり、紙を広げ染まったところを見て「ちゅちゅさんとおはなみたい!!」と興奮した様子で話す子もいて楽しみながら作っている姿が見られました。また真余りな様子で取り組む姿もあり、お父さんへ心をこめて作っているのが感じられとても温かい気持ちになりました。



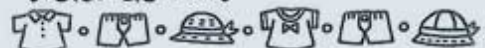
## 泥あそび

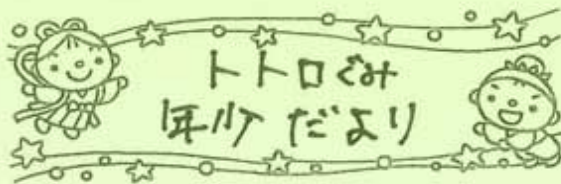
園庭の砂場で泥あそびをして楽しむ子ども達の姿が見られるようになりました。足や手、服が泥だらけになっても遊び続けて泥の感触を楽しんでいます。また、大きいクラスのお友達が泥団子を作っているのを見て、真似をしたり、上手く出来ない時は作り方を教えてもらうなど子ども達同士の温かい関わりも見られます。遊びを通じて優しくされる喜びや人と関わることの楽しさを感じられるように見守ってきたいと思います。



## 生活のようす

4月から3ヶ月が経ちました。子ども達も保育園の生活リズムに馬川じみ、自分の物を置くところや自分の席はどこなのかを把握し過ごしている様子が見られます。身辺整理や衣服の着脱では「自分で!!」という気持ちを壊さないよう見守ったり、援助したりなどを心掛けています。排泄ではお友達がトイレに行く姿を見て興味を持ち覗きに行ったりトイレに行く姿も見られます。一つひとつ出来るようになったことを誉め、子ども自身が自信を持って何ごとにも取り組めるように関わってきたいと思います。





平成24年7月2日  
「ほがさわ保育園」  
片岡 浩



- プールあそびや、水あそびを楽しむ
- ご、こ遊びを通して友達関係を深める

### 子どもの様子

6月から年少児だけで集まりをし、給食を食べるようにはりました。少人数で一人一人の名前を呼びながら集まりをすることで、「トトロ組 年少の仲間」という意識が子どもたちの中で芽生えてきたように思います。その中で「集まりごっこ」が子どもたちの間で始まりました。普段の遊びの中でも「ゆびがいっぽん〜♪」と手遊びをしたり、セアノの前に立ち、「今日のお当番は〜」と言ったりと集まりをよく見て聞いているという事を感じることができます。また、子どもたちで始めた「集まりごっこ」から保育士にバトンタッチをし、「集まり」が出来るようにもなりました。子どもたち自ら集まりに参加し、楽しむ中で、「きちんと話を聞く時は聞く」という習慣を身につけるような時間に、今後していきたいです。



**お当番**  
給食も年少児で食べるように  
はり、お当番をはじめました。  
4、5月に年中、年長児がお当番  
をしているのを見て、あこがれ  
ていたようで、「やりたい！」と  
自分たちから積極的にお当番を  
してくれる姿がありました。  
お当番の仕事をやり終えると達成感  
もあり、开心的笑顔を  
見せています。お当番の仕事を  
通して、「自分にまかされた」という責任感や、  
お当番の仕事をできたという自信  
につなげればと思っております。



**散歩**  
ポキポキ広場や一本橋、  
大地蔵など色々な場所に  
散歩に出かけました。保育園  
から一歩外に出ると発見が  
いっぱい！木のふしが目に  
見えると発見したり、動物  
の足あとを見つけて、「オオカミ  
かひ？」と話したりと想像  
をふくらませる姿がありま  
した。プールがはじまり、  
暑くはなってきたすが、これら  
も体調に気をつけ、散歩に  
出かけたいたいと思います。



ながさわ保育園  
 平成24年7月2日発行  
 平塚 未来



- 夏の自然に興味・関心をもつ。
- プールや水あそびを通して水に親しむ。



<クラスの様子> ☀️ ☁️ ☀️ ☁️

7月に入り、梅雨のじめじめした中でも夏の暑さを感じられるようになってきました。6月は年齢別の日が多く、年中の子だけで過ごす時間がたくさんあり、今まで一緒に遊んでいた子だけでなく、他の子とも仲良く遊ぶ姿が多く見られました。

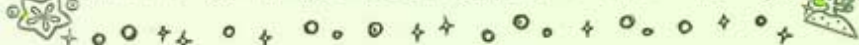
集まりでは集中して聞ける時もあれば周りの子と話をしたり、遊んでしまい話を聞くことができない時もあります。遊ぶ時は遊ぶ、聞く時は聞くという区別をつけられるよう、日々伝えていけたらと思っています。

宝さがし・絵の具あそび

- ↑ 年齢別で過ごす中で年中だけのグループを決めました。そのグループで何か活動できないかと考え、2日にかけて宝さがしと絵の具あそびをしました。
- 普段とは違う活動に子どもたちも大喜びで表情も明るく、全身で楽しんでいるのを感じられました。
- 宝さがしでは平均台を渡り、2階へ行くとお宝が行ったことがないので嬉しかったようで楽しんで取り組む姿がありました。絵の具あそびでは手形を押したり、ハンコを押したりと一人ひとり思いおもいに遊ぶ様子が見られました。
- また、いろいろは体験ができるよう計画していきたいと思っています。

ミニうどん会

- 6月2日のミニうどん会では、おじいちゃん・おばあちゃんと一緒に座って応援したり、競技に出たりと、ゆたるとした流れの中で過ごすことができたのではないかと思います。
- 元気いっぱいミニうどん会に参加する子どもたちの姿を見て、一人ひとりの成長を感じることもできました。
- これからの行事も子どもたちが楽しんで参加できるようにしていきたいと思っています。





ピノキオぐみ  
ねんしょうだより

平成24年7月2日発行

山本真南帆



7月の目標

プールあそび、水あそびを楽しむ。

ごっこあそびを通して、友だち関係を深める。

子どもたちの様子



梅雨を迎えた保育園では、お部屋で過ごすことも多くあり、晴れた日は外へ出たくてウズウズしています。みんなで出かけたお散歩では、道端に生えている草や茶の葉に手を伸ばしては拾い集めたり、変形している木を見ては「雷が落ちたんかなあ」と想像したりと、歩く先々での発見を楽しむ姿がありました。

6月から今までの異年齢での集りのスタイルからかたちを変えて、年少クラスではピノキオ組・トロ組の2つのクラスに分かれて集りを行っています。初めは、自分がどちらのクラスか分からず「どっち？」と戸惑う子も多くいましたが、日を重ねていくうちに「はく(わたし)はピノキオ組！」と意識するようになりました。少人数で内になって集りをする中で、「みんなでピノキオ組」とお互いの姿、存在を目で確かめ合え、また、一人ひとりの表情を近くで感じられたりと、クラスの点がたくさんあります。少人数だからこそできる工夫を環境の中に用意し、子どもたちのよい姿をもっと引き出せていけたらと思います。



年少クラスでのお当番活動を始めました。



年少クラスでは、お集りでしっかり話が聴けたり、お片付けをがんばれた子がその日のお当番をしています。今まで「お当番は大きい子たちしかできなかったことなので、エフロン・バンダナを身につけた子どもたちは、大きい子にちょっと近づけたような気持ちで、どんか誇らし気です。

消毒をシユツとするには力が入ることや、お茶の入ったコップを置くにもこぼれないように、と〜と静かに置くことなど、大きい子に比べて手が小さい年少の子どもたちにとっては、その力加減も簡単ではありません。それでも最後まで、自分の手でやろうとする姿から、それほどお当番をしていた大きい子たちの姿が憧れとして映っていたんだと実感しました。お当番をやり終えた後は子どもたちもふうへ〜と一息。「ありがとうね」と声かけられると嬉しそうな表情を浮かべては、給食やおやつをおいしくに頼張っています。





平成24年7月2日発行  
黒宮由佳

〈7月の目標〉 ◎夏の自然に興味・関心を持つ。



◎プールや水あそびを通して、水に親しむ。



6月、梅雨に入り、台風や不安定な天候の多い月となりました。

2日には、ミニうどん会がありました。今年は、始めから終わりまで、おじいちゃんおばあちゃんと一緒にうどんと  
いうことで、去年は大勢の人を前にして、泣いてしまったり、競技に参加することができなかった子どもたちも、笑顔で  
競技に参加することができていました。ゆたりにとした雰囲気の中で、子どもたちとおじいちゃん、おばあちゃんたちの笑顔が  
たくさん見られ、良いミニうどん会になりましたのではないかと思います。



18～22日は、初めて年中ぐみだけでずーっと一週間となりました。年中ぐみだけでずーっと一週間をより楽しく、そして  
子どもたちの仲が深まるようにずーっとには、どうしたら良いか考え、グループごとに「空さがし」と「絵の具あそび」をやることにしました。

始めに、グループでどちらの遊びをやるのか、話し合いをしました。ほとんどのグループで意見は分かれ、なかなか  
すぐには決まりませんでした。しかしその中で、「空さがしが良い予？」と友だちに意見を聞いた子、「ジャンケンで決めよう！」と  
提案した子と、今までの活動がはげしかった子どもたちの姿がたくさん見られました。

「空さがし」では、地図を見ながら、お家のあるところに向かう子どもたち。途中、平均台を渡る時には、「がんばれー！」  
と、友だちを応援したり、地図を見ながら「こっちせ!!」と目をキラキラさせた子と、友だちと協力しながら、とても  
楽しそうにする子どもたちの姿を見ることができました。

「絵の具あそび」では、大きな紙にスタンプや手や足に絵の具をつけて押したりと、普段できないあそびに  
大喜び。顔に絵の具をつけながら、みんなとても生き生きとした表情をしていました。

今回、このような活動をしたことで、子どもたちの今まで見ることができなかった姿、そしてたくさんの笑顔を見  
ることができ、私もとても嬉しかったです。また、話し合いをして、子どもたちで何をやるか決めたことで、子ども  
たち自身が決定するという大切さを感じることもできました。大トが、何でも準備したり、決めてしまう  
のは、かたんであが、そうではなく、子どもたちが話し合ってから決める。そうすることにより、協調性や、自分の  
意見を言う力など、色んな力がつくのではないかと思います。

また、年齢別の日などを使って、子どもたちで話し合う場を設け、色んなあそびを展開していきたいと思っています。





平成24年7月2日発行

東 亜美  
安田 拓生  
山田 一美

## 〈子どもたちの様子〉

梅雨に入り、すっきりしない天気が続いています。6月のライオンウィークでは、牧田保育所と2回目の交流がありました。今回はさつまいもの苗植えということでしたが、牧田保育所に来てもらったの交流となりました。苗植えは前日の雨の影響で土が柔らかく、少ししかできませんでした。良い天気になり楽しく1日を過ごすことができました。給食はグループにわかれ、牧田保育所のきりん組さんたちと一緒に食べました。お互いに緊張している子どもいましたが、2回目とあって子どもたちも自分から話かける姿があり、「この子は〇〇ちゃんとお友達か」と教えてくれる子どもいました。食後は、外に出てたくさん体を動かして遊びました。きりん組のお友だちを見送った後、お友達と遊ぶ姿や疲れた様子をみせる子どもいましたが、「〇〇ちゃんと〇〇ちゃんお友達!」「ともだち2人でできたよ!」などと、嬉しそうに話す姿もありました。交流を通して自分から、色々な人に関わっていく力が身についていくように、人との出会い、つながりを大切な時間として過ごしてほしいと思います。牧田保育所との3回目の交流は秋のお芋堀りになります。今月末には、いそやま保育所との交流もあるので楽しみにしたいと思います。



## 〈今月の目標〉

・友だちと一緒に夏ならではの遊びに  
取り組む、挑戦したり試したりして楽しむ。



## 〈ミニ運動会〉

2日のミニ運動会はたくさんのおじいちゃん、おばあちゃんに参加頂きました。子どもたちと一緒に参加できるということで、とても楽しみにしており、たくさんのお友だちがみられました。

二人三脚では、2人で息を合わせる事がなかなか難しかったのですが「1・2!! 1・2!!」と声をかけあったり、おじいちゃん、おばあちゃんも本気になって参加して下さったので、子どもたちもワラスのお友だちを応援したりと、とても盛り上がりました。

ミニ運動会は新年度が始まって最初の大きな行事です。秋の運動会では、いつもとちがう子どもたちの姿や成長した姿を見てもらうことができたらと思います。ありがとうございました。

